

晩秋の多摩・東生田自然遊歩道を歩く

日時:2016年12月17日(土) 天候:快晴 22000歩 約15km

集合:小田急線読売ランド前駅南口 9時30分

コース:読売ランド駅→多摩緑地保全地区→農業技術支援センター→小沢城址(浅間山)→薬師堂→生田ふれあいの森→東生田緑地(日向山)→廣福寺→杵形山→向ヶ丘遊園駅(解散)

参加者:中村ゆ(L) 小島重(SL) 栗田(SL) 班長=河野 渡辺哲 市村

勅使河原 神谷 熊坂 大平 奴田 熊島 佐藤繁 中村年 小林 小山文 森川 井内 伊藤美 福士 山川

高橋紀 丹後 平林勝 志村 小田 武倉 加納喜 山田 計29名

この日は一片の雲もない文字通りの快晴でしたが、朝方は冷え込み、公園内には霜柱も見られました。今日のコースは2014年4月に実施した「新緑の多摩丘陵-小沢城址から日本民家園」のほぼ逆回りコースとなります。ただ距離は「やや健」ということで追加ポイントもあり若干伸びました。前回は春で各所に桜も見られましたが、今回は晩秋の森や林が冬支度になっていて、カサカサと落ち葉を踏んで歩く音が心地よく、陽射しを一杯に浴びての気持ちのよい一日でした。但しハプニングもあり、曜日を間違えてドタキャンの人や、スマホゲームに気をとられ降りる駅を通り過ぎ、コース途中から突然現れた人もいて、笑いとおちの混じったウォークとなりましたが、それが誰かは“個人情報保護”の観点から伏せておきます！

<フォトレポート 小島>



集合場所の小田急線読売ランド駅。寒そう～～



まずはいきなりの跨線橋で足慣らし！楽勝～～～



駅前からは多摩美の森に入ります。上りルートと平坦ルートがあり、この場所で合流します。人数を数えると、殆どが上りルートでした。無論上りルートです！



ここは多摩自然遊歩道になっていて、案内板も完備。地元をはじめ川崎市内では知られた里山コースです。広場での熊坂さんのストレッチで身体を解します。



本日のリーダーは中村ゆかりさん。地元の強みで細かな場所を良くご存知で、皆さんも安心してついて行けました！



身体も解れさあ出発！日陰には霜柱も・・・



菅さくら公園内を上って下ります。霜で足元注意！



桜並木の通りには10月桜が咲いていますが、春のこの道沿いは、ソメイヨシノ一色です。



農業支援センターから見た大山。
残念ながら花壇は工事中で花は殆どなし。



ここからはスカイツリーも。



展望台では日向ぼっこ？



二階には古い農機具も展示。



菅仙谷にある禅寺寿福寺です。以前にも寄りました。



本堂までのアプローチが何とも言えず良い雰囲気です！



門前のこの言葉、数年前から変わっていませんが・・・



念ずればこの通り、桜の古木にも新芽？と云う事か・・・



境内に入ると“意外な人”(?)と遭遇！



これは・・・千両？万両？それとも???

■ 寿福寺 ■

寿福寺は仙谷山と号し、臨済宗建長寺派の寺で、縁起によると推古天皇 6 年 (598) に開基されたといわれています。寺には市の重要歴史記念物に指定されている木造国一禅師坐像が所蔵されています。本像は、法衣の裾を垂下し、曲泉に坐す通常の頂相彫刻の姿に造られています。構造は寄木(よせぎ)造、玉眼(ぎょくがん)で、漆地に彩色を施していましたが、現在はほとんど剥落しています。



ここ菅仙谷地区は小沢城の麓にあたり、その当時には家臣団の居館や農民の田畑だったのでしょ。



ここから小沢城址に入ります。おや、リーダーより前を歩くのはどなた？（罰としてチョコレートを食べること！）

■小沢城■

『新編武蔵風土記稿』の伝えるところによると、鎌倉時代初頭の小沢城は、小沢小太郎の居城であったようです。小沢小太郎は源頼朝の重臣として活躍した稲毛三郎重成の子で、この地域の支配にあっていたものと考えられます。丘陵地形が天然の要害を形づくっているこの地は、鎌倉道が通る交通の要衝（ようしょう）で、多摩川の広い低地や河原をひかえていたため、鎌倉時代から戦国時代にかけてたびたび合戦の舞台になりました。なかでも、鎌倉時代末の元弘3年（1333）、鎌倉討幕のために、激戦の末、幕府軍を打ち破って鎌倉侵攻の突破口を開いた分倍河原（ぶばいがわら）合戦は有名です。また、南北朝時代に入ると、観応2年（北朝の年号）・正平6年（南朝の年号）（1351）に足利基氏が、小沢城に籠（こ）もった足利直義の軍勢を攻め陥（おと）した戦い、さらに戦国時代にいたっては、北条早雲らが山内上杉顕定を破った合戦などがあり、後北条氏と上杉氏との勢力争いの接点となっていました。享祿3年（1530）、武蔵最大の支配力を持つ上杉朝興に対し、後北条氏の軍勢は小沢城に陣を張って、これを迎え撃ち撃破しました。これが北条氏康の初陣で、世にいう小沢原合戦です。現在、小沢城跡は緑地公園として保存されており、その中には空堀や物見櫓（やぐら）、土塁などと思われる城の遺構が残っています。これらの遺構は室町時代に築かれたものであろうと考えられます。（川崎市資料より抜粋）





●小沢城址の石碑前で集合写真。肝心の碑名が隠れてしまいました！（あ、これは私の指示ミスです・・・）



●2014年4月9日の時の写真。上と比べると参加者の顔ぶれと季節の違いが分かりますね！



さあ、ここから“城内”を巡りますよ〜〜



この時代の城には石垣はなくすべて土塁や空堀です。



城内の各所には地元有志による説明版が建っています。



狭い尾根筋は結構なアップダウンで「やや健」で正解？



菅小谷緑地に下りてきました。



稲毛三郎重成が建てた薬師堂です。



この土俵で「菅の獅子舞」が行われます。



そんなことよりランチ場所まだなの？



ランチ場所に向かって“進軍”する女性軍団4人組！



でもこの急階段、そう簡単には着きそうもありません。



ご覧の様な急階段でした。でも皆さん無事にクリア！



このランチ場所、公園のようなただの緑地だったっけ？



食べたらもう用はなし、午後の部へ。



山より住宅街の方が楽？



食後にはまた厳しい試練が待っていました！



寺尾台団地内の八角堂跡に着きました。



これがあるで・・・この画、新しい指相撲なの？



横書きの説明を縦読みした器用な人が・・・左の人！



八角堂からはまたまた急階段で下界に下ります。



と思ったらまた上り？ やっぱり「やや健」ですね～



皆さん何か下を覗いていますが・・・



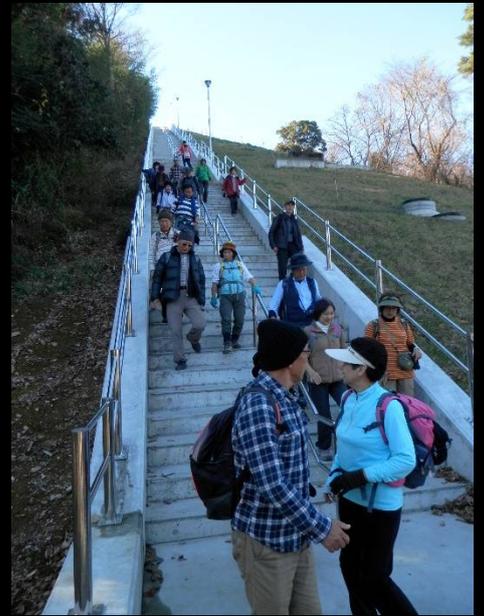
旧生田配水池が太陽光発電施設に変身！



施設は整備され展望広場まで出来ています。



ここからは都心とスカイツリーも。



さあここからは210段の下り階段です。これが逆コースだったら・・・当然ながらブーイングが出たでしょうね！



土澁不動院でトイレ休憩としました。



いい加減疲れた皆さん。まだこれからですよ。



東生田緑地の林の中を歩きます。



日向山で暫し休憩。あとどのくらい？



この画、何で中腰なの？



解けない靴紐の結び方の講習中でした！



こんなトンネルを抜けて・・・



根岸稲荷に手を合わせ・・・



暗い竹林を抜けて・・・



やっと終点が見えてきたようです。



ここまで来れば、後は杵形山を目指すのみ。



その前に廣福寺に寄ります。ここは特に何もなかった！



これもお馴染み戸隠不動跡で最後の小休止。



杵形山広場で熊坂さんのクールダウン。



中村 L の締め挨拶。一旦ここで仮解散。



枅形城址を後に。夕陽の長い影が皆を追ってきます。



搦手から帰る何時ものパターンで駅へ向かいます。



向ヶ丘遊園駅を前にここで歩数・距離を確認、直帰組とアフター組に分かれ解散となりました。

※前日までの強い風と気温が嘘のような好天に恵まれました。当初は一般コースとして企画されたものの、下見の結果として「やや健」になりましたが、最後まで全員無事に完歩出来ました。これで川崎域内を中心としたコースが、また一つ増えたわけで、横浜・湘南方面にお住いの方にも、自然豊かな川崎市を知って頂けたことと思います。中村リーダーお疲れ様でした。



●今年も私の拙いレポートをご覧頂き有り難うございました。来年もまた新たな気持ちで、楽しいウォークの様子をお伝えしたいと思います。なお、失礼なコメントや写真があったかと思いますが、その点は“大人対応”でご容赦のほどを！

皆様良いお年をお迎えください